

ご意見やご要望があれば記入して下さい。

1	お二人とも大変分かりやすく、かつ熱心に講演いただきありがとうございました。 国保担当、在宅医療担当等が合同で話をきく機会を設けて頂き、大変有意義だったです。感謝申し上げます。
2	内容として、直接市町村の担当にお話していただいた方がよいのではないかと。行政（県）であると、医学的な視点、知見がなく、意図が100%伝わらないと思いました。
3	ブロック別に市町村向けの説明会も是非ご検討いただきたい。
4	飯島先生のフレイル予防活動のご講演を聴き、フレイルの概念とフレイル予防の大切さは理解できました。実際に保険者の支援として、健診結果説明会や骨量測定等の結果説明・健康相談に従事している私ども保健師の考え方の対象者の状況に応じてのメタボからフレイルへのギアチェンジが必要であることも理解できました。しかし、実際には知識の不足を感じます。 また、以前、市町村の特定健診を担当しておりましたが、65歳以上を対象に特定健診の間診票とともに介護予防事業での「生活機能評価」を実施していました。一応、運動機能、食事、歯、生活状況、うつ等を網羅した調査票です。現在も実施しているか分からないのですが、この生活機能評価にフレイルの気づきから生活習慣改善の行動へいかにつなげるかが大切であること、個別の対応となると、サポーターの役割が重要であることも感じました。全国各地でサポーターが増えることが、フレイル予防につながることも理解できました。医療職のギアチェンジができるよう今後とも、このような説明会の開催をよろしく願います。ありがとうございました。
5	特定健診など健康診断にフレイルチェック項目を入れていただくとデータ分析がやりやすくなるのでは。（国保データベースシステム等で） 国保連合会で支援を出来る事も説明していただきたい。（難しいかと思いますが。）
6	適切であったと思う。
7	地域診療所（クリニック）よりも歯科に質の差があるように感じる。
8	コミュニティの孤立化防止の小さな集まり毎回、10名～15名程度の住民が参加（月2回）をサポートしています。このような単位で、このフレイル予防活動プロジェクトに参画するにはどうしたらいいか、行政（市町村）に働きかけるのが必須でしょうね。そうしてみます。本日はありがとうございました。
9	是非今後も企画をお願いいたします。
10	今後もこのような説明会を続けてほしいと思いました。（担当者の人事異動等があるため）